

2027/28 博士留学奨学金 募集要項

本奨学金は、ドイツの大学、研究機関において博士号取得を目指す者を対象に、博士号取得のためのドイツ留学を支援するものである。

[Promotionen in Deutschland](#) ([Doctoral Programmes in Germany](#))

1. 応募資格

- 応募時点において、以下の規定を満たしていること。
 - 最終学位取得から6年以内である。
 - 博士後期課程に在籍中の場合、進学より3年以内である。
 - ドイツ在住の場合、応募時点から遡って15か月以上ドイツに滞在していない。過去の通算ドイツ滞在期間は問われない。
- 原則として、奨学金受給開始時までに、修士号を取得していること。
- 奨学金受給期間中にドイツ以外の国に滞在する予定がある場合、以下の条件が満たされていること。
 - その滞在が学位取得のために不可欠であること。
 - 滞在地が日本でないこと。
 - 滞在期間が、奨学金受給期間全体の25%を超えないこと。
 - 応募書類の研究計画書およびタイムスケジュールに、国外の滞在が明記されていること。
- 医学(人間医学、獣医学、歯学)分野の応募者は [Zusätzliche Hinweise](#) / [Additional Information](#) を参照すること。

2. 給付期間

- 最大4年
- 奨学金の最初の給付期間は最大3年間。一年ごとに、研究の進捗状況が評価される。その後、4年目の給付を申請することができる。
- 奨学金の給付は、原則として2027年10月から開始される。

3. 給付内容

- 毎月1,400€
- 健康・傷害・個人賠償責任保険
- 旅費補助(金額については[こちら](#)を参照すること。)
- 研究補助費、毎年460€
- 状況に応じて、家賃補助、家族手当、疾病手当、環境負荷の少ない交通手段に対するインセンティブなどが給付されることもある。
- ドイツ語学習補助
 - 奨学金給付決定後、渡独までに参加できるオンラインドイツ語コース
 - 奨学金受給始前に付与される、2~6か月間の現地での語学研修
 - 奨学金受給期間中に参加するドイツ語コースの一部費用
 - TestDaFまたはDSHの受験料
- 他機関からの奨学金や給料との併給については、[Wichtige Hinweise](#) / [Important Information](#) F-6 を参照すること。

4. 応募方法・書類

応募は全て [DAAD ポータル](#) で行う。ドイツ語または英語の募集要項内のリンク(Zum Bewerbungsportal / To the application portal)から飛ぶと、自動的に本プログラムが選択さ

れる。応募者はポータル上で申請書を記入し、下記の必要書類をアップロードする。応募が完了すると、提出した書類が一つの PDF データ (Bewerbungszusammenfassung / Application Summary) として送られてくる。

DAAD ポータル上での提出書類 (特に指定がない場合、書類の書式は自由である。各書類を、ポータル上の適切なカテゴリーにアップロードすること。)

- **申請書**: DAAD ポータル上で記入して作成する。
- **履歴書** (3 ページ以内)
- もしあれば、**出版物リスト** (10 ページ以内)
- **動機文** (2 ページ以内): ドイツへの留学に関する専門的および個人的な動機を記したもの。
- **研究計画書** (10 ページ以内): これまでの研究内容を含む詳細な計画書を、指導教員と相談のうえ応募者自身で作成すること。[Wichtige Hinweise](#) / [Important Information](#) B-2 を参照すること。
- **受入承諾書または入学許可書**
 - 指導教員の指導のもとで博士号取得を目指す場合 (individual PhD)
 - **指導の受入承諾書**: [Wichtige Hinweise](#) / [Important Information](#) C-3 を参照すること。
 - **タイムスケジュール**: 指導教員によって承認されたものであること。
 - ドイツの博士号取得プログラムの枠組み内で博士号取得を目指す場合 (structured doctoral study programme)
 - **プログラムのモジュールプラン**
 - **プログラムコーディネーターとのやり取りを証明する書類**
 - **入学許可書**: 応募時点で入学許可が下りていない場合は、奨学金受給開始までに提出すること。
- **研究の安全性及び倫理面に関する宣誓書**: [所定用紙](#) に記入する。ドイツの指導教員による署名をもらうこと。
- **大学の全課程の修了証明書**: GPA の記載があるもの。応募時点で在学中かつ奨学金受給開始までに課程を修了する予定の者は、在学証明書あるいは修了見込み証明書を提出の上、入手し次第修了証明書を追加提出すること。
- **大学の全課程の成績証明書**: 各授業の成績が明記されていること。
- **語学能力証明書**: 研究の遂行に問題がない語学力を有することを示す証明書を提出すること。スコアの基準はない。[Wichtige Hinweise](#) / [Important Information](#) A-9、D-5 を参照すること。
- **推薦状**: DAAD ポータルからフォーマットを取得可能。MyDAAD 内の Formular Empfehlungsschreiben erzeugen / Request recommendation form から必要事項を入力して PDF フォーマットを作成する。そのデータを推薦者にメールで送り、記入および署名してもらった後、応募者自身でアップロードする。推薦者は、応募者の研究内容および人物についてよく知る大学教員であること。
- その他、応募者が、応募に関係あると判断する書類: ドイツ語または英語での発行が難しい場合、応募者による翻訳でも可。その場合には、応募者が自身で翻訳した旨を必ず記載し、併せて日本語の原本も提出すること。
- **[和文申請書](#)** (英語およびドイツ語の募集要項に記載なし)

応募期限

2026 年 10 月 21 日

(当日、中央ヨーロッパ標準時 (MEZ) 24 時を過ぎるとポータルが閉鎖され、すべての応募が不可能

になる。期日までに必ずポータル上での応募を完了させること。)

5. 選考

- 審査は専門家による独立した選考委員会によって行われる。審査においては、学問的資格、研究計画の質、応募者の将来性が総合的に考慮される。
- 書類のみによって一次選考を行う。結果は12月中旬に DAAD ポータル上で通知される。
- 一次選考の通過者に対して、1月中旬にハイブリッド形式による面接二次選考を行う。試験の言語は英語またはドイツ語。面接の日時等の詳細は、一次選考の結果と併せて通知される。
- 二次選考を踏まえた最終結果は、翌年4月頃に DAAD ポータル上で通知される。

6. 注意事項

- 特に指定がない場合、証明書類はすべてコピーでの提出で構わない。ただし場合によっては、個別に原本の提出を求めることがある。
- 提出書類のサイズは A4 で統一すること。
- 提出書類に不備あるいは不正があった場合、いかなる理由があろうとも応募は無効となる。
- ポータル閉鎖後の応募は、いかなる理由があろうとも受け付けない。
- 締切日当日は DAAD ポータルの混雑が予想される。例年、技術的なトラブルを含む様々な問題が発生し応募ができない者がいる。それ故、可能な限り余裕をもってポータル上での応募を完了させることを推奨する。
- 応募書類は返却されない。また、応募者のデータは応募手続きの処理に必要な限り、ドイツ連邦データ保護法ならびに EU 一般データ保護規則に則り DAAD に保管される。
- 応募に際しては、DAAD 東京事務所 HP の [よくある質問](#) も参照すること。
- 日本語訳はあくまでも補助的な参考資料であり、原語（ドイツ語および英語）の募集要項における内容が最優先である。原語の指示を正確に理解することも応募の条件なので、必ず原語の募集要項を参照すること。